

藤棚新聞



第56号
2017年(平成29年)
10月20日
偶数月発行
フリーペーパー

いま注目の「LRT」



LRTのイメージ写真

最近新聞などで話題になっている「LRT」をご存知でしょうか? 「ライトレールトランジット」、つまり藤棚を走っていた市電の次世代型路面電車のことです。車社会に追われ姿を消した路面電車、その復活が世界で今にわかに話題となっています。

「横浜にLRTを走らせる会」理事で「横浜の公共交通活性化をめざす協議会」事務局長の小田部明人さんによれば、欧米では1970年代以降、160を超える都市でLRTが開通しているそうです。環境に優しく、高齢者にも乗りやすく便利、という利点が見直されている

といえます。遅ればせながら日本でも、11年ほど前に富山でLRTが開通、近々宇都宮でも建設が始まるとか。横浜でも小田部さんらが計画を提案、市がまず2020年の五輪をメドに連接バスをみなとみらい地区に走らせ、将来的にはLRT化も検討するとのこと。また中心部だけでなく、郊外の利便を考えた路線の検討も進めています。公共交通機関の発達が発達をもたらした日本。しかし採算性を理由に存廃問題が起きるのは世界でも日本だけ、と小田部さんは指摘します。公共交通機関は大切な市民の足。藤棚の皆さんにもぜひ応援していただきたい、とメッセージを託されました。新しい交通システムで、高齢者も気軽に出かけられ、町の活性化にもつながるLRT、藤棚にもやって来ると良いですね。

気になるお店シリーズ

インドアジアンレストランとバー スワズ



TEL: 231-4272

サンモール西横浜商店街の富士屋さんとムサシヤさんの向かい側に、新しいインド料理屋さんが出来ています。美味しそうなカレーの香りに誘われてお訪ねしました。店名はスワズ。「味」という意味だそうです。店長のタパハルカさんはネパール生まれ。6歳からインドに住み、卒業後の16歳から本場インド料理屋さんで修業を重ね、2014年に家族で来日しました。長兄がまず川崎でお店を開き、順番に次男が静岡県、6月に末っ子がここ藤棚に開店しました。普通のインドカレー屋さんとは腕が違う、と自慢の味。日本人の舌に合うよう辛さも選べ、奥にお座敷もあるので家族連れも楽しめます。藤棚の人は親切で大好き、というタパハルカさん。本場の味を一度味わってみてはいかがでしょうか。

小児がんを無くすために奮闘 榮島四郎(えいじましろ)君



3才の夏、突然の頭痛と吐き気に襲われ脳腫瘍を摘出する手術15時間にも及び、現在は平沼小学校に元気に通う、榮島四郎君(4年生=写真下)がいます。今でも治療の後遺症のため分泌が減った成長ホルモンを、毎日注射で補っています。

日本では年間2000人の子供が小児がんと言われているとされています。四郎君は「小児がんという病気が知られていない」と思い、「みんなの病気が治るために治療の研究や薬の開発に使ってほしい」と、仲間と一緒に作った美味しいレモネードを売る募金活動しています。

9月20日にはカフェターブルドートでの子ども食堂にレモネードスタンドを設けました。同月30日には西公会堂での『みんなのレモネードフェスティバル』で、246杯のレモネードを売り上げました。また、小児がんを体験した子どもを追った映画『風のかたち』が上映されて、小児がんは不治の病ではないという医師からの心強いメッセージが子どもたちに伝えられ、希望の光が見えた子どもたちの夢が「将来は医師や看護師になりたい」や「こどもを産みたい」と膨む様子が描かれました。

四郎君はなおも「病気で苦しむ人が一人でもいなくなるように」と力強く話してくれます。

昔ながらの銭湯 朝日湯

7月、幼稚園児140名が毎年行っている体験入浴にやってきました。「子どもたちののはしゃぐ姿は、

まるで子芋洗いでしたよ。」と笑って話す、主人の菓子田卓也さん。

朝日湯は昭和26年、叔父さんが開業しました。菓子田さんは昭和34年から働き始め丁稚、三助、番頭を経験し昭和44年に叔父さんから受け継ぎました。三助とはお客さんの背中をへちまで洗い流したあと、ツボを押す(マッサージ)こと3分ぐらい、最盛期は一日に50人から60人ぐらいこなしていました。

建物は当時のまま、天井が高く床も磨いているせいか光っています。ペンキ絵は男湯が西伊豆から見た富士山、女湯は絵師の丸山清人さんに描いてもらったインパクトのある能登半島の見附島が →4面に続く



ふじなちゃんのさんぽみち ~野毛山動物園とその周辺~



野毛山公園は日ノ出町駅から10分ほどです。入園料は無料で、沢山の動物たちに出会えて目を奪われます。なかよし広場では、モルモットやニワトリなどの小動物と触れ合うことが出来て、皆さんが来ることを待っています。



動物園巡りをして歩き疲れたら、敷地内にある市電で一休みもよいかもしれません。昔にタイムスリップできるかも。怖~いライオンもこの日は、沢山の人がいるにもかかわらず、日中からうとうと居眠りしていました。居眠りしている姿は、可愛らしい。動物たちに癒やされた帰り道は、隣にある野毛山公園の展望台からの景色を眺めたり、中央図書館によって本を見たりと少し足を運んでみてはいかがでしょうか。



こんにちは、グループ！ 『はじめのいっぽ』

今回は、障害を持っている人の生活を支援しているグループ「はじめのいっぽ」を訪問しました。代表の高木大介さんからは活動の内容について次の寄稿をいただきました。



平成28年2月、『障がいがある人も、地域で暮らしている実感を持って生活するために何ができるか…』を考えようと、西区主催の地域づくり大学卒業生のメンバーが中心となって、このグループは発足しました。

障害のある人たちや家族の方が、楽しみながら安心して街を歩くにはどうしたら良いか。地域のお祭りの情報を集めたり、疲れた時に気軽に休める場所を考えたり、ご家族がお店の中を見て歩きたい時に少しの時間お店の外でお子さんを見てもらえたらなど、この活動が役立つ場面を模索してきました。そこで周りの人に理解を深めてもらう為に、今年の夏に『藤棚Wハートマーク』(上図)を

“ふじ棚秋まつり” 10月14日

お天気が心配されましたが、持ちました。藤棚商店街の会場は、開会の時から大変な人で賑わいました。



作成しました。これは何かお手伝いを必要としている方にとって、そこが“頼れる先”であることを示しています。願成寺の縁日にあわせて、ライブステーションに貼って頂いたこともあります。お祭りでは車いすに乗って訪れている方の数はまだまだ少ないと感じます。

“暮らしやすい街” “出かけやすい街”について、グループの仲間を増やし知恵を出し合いながら、今後も活動を続けていきます。

サンモール西横浜でハロウィンイベント



去年のハロウィン
ムサシヤさん(左端)提供

サンモール西横浜商店街では10月28日 土曜日に「ハッピー・ハロウィン」イベントが開かれ、お化けのパレードが行われます。

10年ほど前から始まったこのハロウィンイベント。今年も子供から大人まで、可愛いお化け達が商店街を練り歩きます。飛び入り参加もOK。当日仮装してきてくれた子供たちには、「オバケ・スポット」でプロのカメラマンの撮影や、カボチャ風船のあるお店でお菓子のプレゼントも。



おととしのハロウィン

20日から31日まで、目印のお化けステッカーがあるお店では、ハロウィン期間限定メニューが用意されます。さらに道志村水源林の間伐材をくりぬいたカボチャの型のペインティングなど、企画がいっぱい。もちろんサンモール以外の地区からの参加大歓迎とのことです。また、11月3日の「へそ祭り」でも催し物が盛りだくさん。

秋の一日、サンモールのイベントを楽しんでみませんか。



稲荷台小学校

健民祭

10月8日(日)

からりと晴れた空のもと、力をこめて玉を割ろうとする人、今や遅しとスタートを待つ人、みんな元気一杯でした。

第三地区

第二地区



西前小学校

2面、昔ながらの銭湯から続く浴室をにぎやかに彩っています。燃料は「薪と油でやりくりしていますよ。」

営業時間が15時から23時までと長く、定休日は第2、第4土曜日、奥さんと二人の経営は決して楽ではないと言います。しかし、趣味の和太鼓の話になると俄然、話が弾みます。毎週日曜日、仲間と共に脱衣所を利用して、杉豊太鼓による和太鼓教室を開催しています。

中央2-44-6 問い合わせ 321-5472

ご寄付ありがとうございます。

バラエティ駄菓子屋

咲弘洞 さま

藤棚俳壇・選者——三村風彦

人はみな海に還りて秋となる
秋の午後部屋で描いた河童橋
夏草やベンチ二つのうずもれり
独り居の今朝の寂しさ女郎花
独り言大地へこぼし草むしる
ワンルーム窓辺においた石榴はぜ
決断は見切り千両大花火

小野元夫
荒川文字
雨宮則子
松岡加代子
太田富子
吉田光子
池田年子

最近「海に散骨」という死者の霊の弔いが話題になる。「母なる海」という西洋思想に起因している様に思う。第一席の新鮮さは、ここからきている。

《寸評》

投句—当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切は十一月二十日。
* 巻頭句には粗品を進呈。

Eメール: fujidananp@jcom.zaq.ne.jp
FAX : 045-895-0081

西横浜で創業28年！！

初心者、Wワーク、65歳以上 大歓迎

日勤警備横浜株式会社 男女アルバイト募集

昼勤 10,000円 夜勤 11,880円

交通誘導警備 / 店舗駐車場ご案内 他

☎ 045-252-9292(24時間)

横浜市西区浜松町5-6

お気軽にお問い合わせください。

地元で35年！親身な指導！

- 起業・会社設立
- 決算・申告・記帳代行
- 相続・贈与・事業承継

相談
無料

寺田会計事務所

公認会計士 寺田誠一
税理士 寺田悟史

西区中央2-13-2
伊勢新ビル2F
☎324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜

藤棚新聞ではただいま広告を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp